

おすすめの1冊

秋霜 (しゅうきよう)

葉室 麟 (はむろ りん) / 著



第146回直木賞受賞作「蝸ノ記(ひぐらしのき)」に続く、羽根藩シリーズ、待望の第4弾！日本人の凛たる姿を描く著者渾身の作。シリーズ作の中で、

私が一番感動した作品です。

人生支援

Q 少子化問題での出生率の前に、結婚支援対策が必要だと思ふ。県には婚活の窓口があるが市には婚活窓口があるのか。

A 地域支援課が窓口になっていません。婚活については、本年度からお世話をしていただける方や団体に對し、上限10万円で講師料や借上げ料、広告費、などを補助します。現在2団体から問い合わせをいただいています。また、今年は付き合いい方のセミナーを開きます。



Q 新しい団地で小さい子どもが増えているが、遊べる公園が少ない。遊ぶところがあれば子育て世代が増えるのではないかと思ふ。

A 「香南市子育てガイドブック」を作成し、5月からホームページの方にもサイトを開設しました。

その中で、「親子でお出かけスポット」をご紹介していますのでぜひ活用ください。大きな施設でなくても、たとえば運動公園の下で小さな子どもが遊べるようなちよつとした遊具があったり森林があつたりするところもありません。

ガイドブックは市役所でも配布していますし、ホームページで登録していただければメールマガジンも配布するようにしていますので、ぜひ登録ください。

その他

Q 地籍調査についてどのようなに進んでいるか。

A 本年度は赤岡、吉川を来年度は吉川と野市町の一部を予定しています。沿岸部を優先的に進める計画になっています。山間部は森林組合が森林整備計画を立てたところから境界線の明確化も行っています。

Q 市役所新庁舎について、現庁舎では不便なのか。各支所舎が建設された後、支所は残るのか。

A 課が分散していることによる意思の疎通がとりにくいという現状が不便です。現庁舎は耐震対策が不十分であることと合併特例債の期限もあり、議論を重ねた結果、各課を集約した免震構造の新庁舎を建設することを決めました。支所機能は残します。

Q 10〜20年後には高齢化で耕作放棄地がますます増加する。そういう農地について今後、市がどのような対策をするのか。

A 耕作放棄地をできるだけ食い止めて、営農を可能にするための1つとして地産地消を給食の場にかし、土地の営農を続けることを農業公社に働きかけ、事業化しています。そして、現実にするのはまだまだ努力が必要ですが、生産・加工・販売という独自産業化、農産物が一定の商品として扱われる、産業の循環機能を作っていくかなければいけないと思つています。機能的なまちづくりを検討していく中で、香南市らしい姿を守り農地を保全していきます。



安岡多實男 教育長

ご参加ありがとうございます
地区懇談会の開催目的は、香南市が市民の皆さんに重点施策などを説明するとともに、地域と行政が膝を交えて、自由に意見を出していただき、生の声を行政の各方面に反映させていくことです。皆さんからいただいたご意見や要望、提案は、内容を確認のうえ要点をまとめ、地区懇談会カルテとして主要な公民館に質問内容・当日回答・後日対応などを記載したものを設置していきます。また、懇談会で即答できなかった課題は、現地確認を行い、地域支援課で取りまとめ各支所・担当課と協議してできる事案から対応していきます。

今後も地域の皆さんの声が行政に反映できるように取り組んでまいりたいと考えていますので、次回は更に多くの方に参加していただくようお願いいたします。

地域支援課 ☎57-8503

市長談話室

41

香南市の防災③

活発な梅雨前線の影響で、6月19日から九州地方を中心に大雨が降り、24日までに死傷者が出たほか、河川の氾濫や土砂崩れなども発生しました。

ここ最近、台風や局地的な豪雨などが毎年のように各地で大きな被害をもたらしています。今まで被害がなかったから大丈夫と油断せず、防災気象情報を収集するなどして、早め早めの対策をお願いします。

避難所運営マニュアル

◆避難所に必要な機能

南海トラフ地震が発生すると、多くの人が長期間にわたる避難生活を余儀なくされます。

特に避難所は、多くの人が共同生活を送る場であることを考えると、避難後の混乱で体調を崩したり、生命に関わる問題が発生したりしないよう、地域を主体とする迅速な避難

6月10日に、政府の地震調査委員会が全国地震動予測地図の本年度版を公表しました。報道等によりご存じの方もいるかと思いますが、高知市が今後30年間に震度6以上の揺れに見舞われる確率は、2年前に比べて3%上昇し、73%となっています。

地震についてよく言われるのが、起こる仕組みはわかっても予知はできないということ。いつ発生するかわからないからこそ、命を守り、助かった命をつなぐ取り組みが大切になってきます。そこで、今月号は、大規模災害が発生したときの避難所運営のあり方についてです。

所運営が大切になってきます。

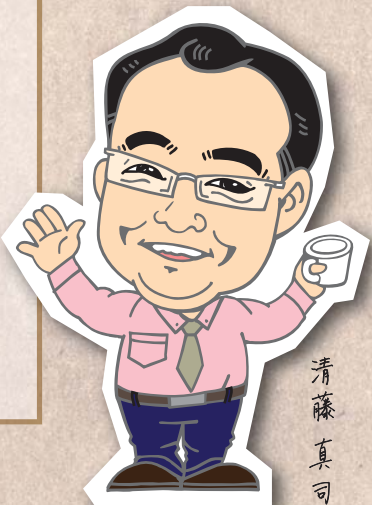
避難所の機能として考えられることは、①避難スペースの割り振りや水・食料・救援物資の配給 ②トイレなどの衛生面に関すること ③体や心の健康 ④生活の再建に必要な情報の収集と提供 ⑤避難者のニーズを把握し、行政や支援機関へ伝えること ⑥介護が必要な人や乳幼児・妊

産婦などへの配慮などさまざまです。これらのことを含め、住民の助け合いによる運営が、どれだけできるかによって避難生活の質は全く違ってきます。

◆避難所運営マニュアルの策定

避難所運営マニュアルはいざというときに迅速に避難所を立ち上げ、運営を行うルールづくりのことです。広域で大規模な災害が発生したときには、行政の支援が十分に機能するとは限りません。避難後の混乱を少なくするためにも、災害が起る前から避難所運営の体制やルールなどを決めておくことが大切です。

香南市では平成26年に城山高校、昨年は赤岡小学校で避難所の開設運営訓練を実施しました。今年度は、昨年の訓練を検証したうえで、赤岡小学校が避難所となったときの運営マニュアルを策定する予定です。今後は、この取り組みを市内全域へと広げていきたいと思います。



清藤真司